

津島市スポーツ少年団野球部会

内 規

1. 試合を行うチームは、試合開始30分前までに集合し、メンバー表を提出する（メンバー表はフルネームで記入する）。
2. プレーヤーと用具
 - ア. 危険防止のために捕手は、ヘルメット・マスク・プロテクター・レガース・ファウルカップを着用する。また、打者・走者及びベースコーチは両耳つきヘルメット（安全保証マーク入り）を着用する。
 - イ. ボールはマルエスボールJ号球を使用する。
 - ウ. バットについて
 - (1) 金属バットはJ S B Bのマークのものを使用する。
 - (2) 変形した金属バット、その他不完全（危険）と認めたものは使用を禁止する。
 - エ. 背番号は全員がつける。監督（代理監督を含む）は30番、コーチは28・29番、主将は10番とする（主将が10番をつけていない場合は、メンバー表の主将の背番号に○をつける）。
3. 試合について
 - ア. 6回戦または85分試合とし、以降新しいイニングには入らない。なお、同点の場合は最終出場選手9名による抽選とする（3回10点差、4回以降7点差の場合はコールドゲームとする）。
 - イ. 決勝戦については、コールドゲームはなしとする。なお、同点の場合（A級・B級）は特別ルールを1イニング行い、さらに同点の場合は最終出場選手9名による抽選とする。
 - ウ. 特別ルールの方法
継続打順で前回の最終打者を1塁とし、2塁、3塁は順次前の打者とし無死満塁の状態にしてイニングを行い、得点の多いチームを勝ちとする（走者は投手を除くことができる）。記録は前得点と特別ルールの得点を加算する。
 - エ. 降雨又は日没により試合続行不可能となった場合、下記に該当していれば試合は成立する。この場合の得点の扱いは均等回までの得点とし、勝敗を決する。
 - (1) 4回の裏が終了している場合。
 - (2) 4回の表終了から4回の裏の攻撃中の間に試合続行不可となり、裏の攻撃チームの得点が表示の攻撃チームの得点より多い場合。
 - (3) 4回の裏の攻撃中に得点が入り同点となった状態で試合続行不可となった場合。
 - オ. 試合球として、ボール（新品または新古品）を2球ずつ提出する（津島市長旗争奪少年野球大会、中日旗争奪三二甲子園大会は主催者より試合球を提供する）。
 - カ. ベンチ入りできるのは選手25名以内と監督、コーチ、代表者及びスコアラーの5名以内とする。ただし、代表者・スコアラーはチームの帽子を着帽し、ユニフォーム及び審判服の着用は不可とする。
 - キ. 試合前のシートノックは行う。ただし、大会運営者の判断により行わない場合もある。
 - ク. ベンチは抽選番号の若番を1塁側とする（リーグ戦の場合は、別途主催者側にて定める）。
 - ケ. 試合中の投球練習は、初回（投手交替時）7球、以降3球とする。なお、投球練習時の代理捕手が控え選手にいない場合、三塁手等を代理捕手とする。
 - コ. 試合のスピード化に関する事項
 - (1) 打者はみだりにバッターボックスから出ないでサインを見ること。
 - (2) 確認及び選手交代の通告は監督が行う。
 - (3) 監督は投手マウンドに行くことができる（但し、1イニング中に2回行けば投手交代となる）。
 - (4) ランナーコーチは円陣に加わらず、速やかに担当の持ち場に移動すること。
 - サ. 女子選手に限り、6年生はB級、5年生はC級の大会への参加を認める。
 - シ. 指名打者制は採用しない。

4. 審判について

- ア. 審判員を各チームより差し出す。なお、審判員が都合つかない場合は、本部会で代行可能な場合もあるため事前相談のこと。その場合、審判1名につき二千元を審判員代として支払うこと（原則、大会参加は審判員を出すことが前提）。
- イ. 審判員は試合開始30分前（グラウンド設営の担当となった場合は1時間前）に集合する。
- ウ. 審判員の服装は、白地（夏）または黒地（冬）のポロシャツ、紺、黒またはチャコールのズボン、黒地の靴、黒または紺の審判帽とする。ただし、津島市スポーツ少年団野球部会所属以外のチームについては各所属連盟公認の服装を認める（中日旗争奪三二甲子園大会に限りジャージ、ユニフォームを認める（ユニフォームの上着は着用しない））。
- エ. 担当塁は下記の通りとする。
- (1) 津島市スポーツ少年団野球部会が試合日時を指定かつ自チームの試合を担当する場合（中日旗争奪三二甲子園大会等）
- 球 審 津島市スポーツ少年団野球部会審判部
一塁審 一塁側ベンチのチーム
二塁審 奇数回戦の場合は抽選番号が奇数のチーム、偶数回戦の場合は抽選番号が偶数のチーム（抽選番号が両チームとも奇数または偶数の場合は若番とする）
三塁審 三塁側ベンチのチーム
- (2) 津島市長旗争奪少年野球大会等
- 球審・二塁審 奇数回戦の場合は抽選番号が奇数のチーム、偶数回戦の場合は抽選番号が偶数のチーム（抽選番号が両チームとも奇数または偶数の場合は若番とする）
一・三塁審 球審・二塁審を担当しないチーム
※ 担当する試合は自チームの試合前・後以外となる場合もある。
- (3) チーム間調整試合の場合（リーグ戦）
- 球審・二塁審 成績表に「球審」と記載のあるチーム
一・三塁審 成績表に「塁審」と記載のあるチーム
- (4) チーム間調整試合の場合（トーナメント戦）
- 球審・二塁審 奇数回戦の場合は抽選番号が奇数のチーム、偶数回戦の場合は抽選番号が偶数のチーム（抽選番号が両チームとも奇数または偶数の場合は若番とする）
一・三塁審 球審・二塁審を担当しないチーム
- オ. 雨天等により試合が中止となり、審判のみを担当した場合でも、次回試合実施日には審判を担当する場合もある。

5. 傷害事故について

試合中及びその事故、傷害については各チームの指導者が責任を持って処置にあたり、本部会は一切責任を負わない。

6. その他

グラウンド内の応援可能な場所は自チームベンチ（ベンチ後方を除く）より外野方向とする。ただし、機材設置のみの撮影に限り投手の妨げにならない場所であれば可能とする。